

【第21期経営指針を創る会】受講生募集!!

同友会では、経営理念・10年ビジョン・経営方針・経営計画を総称して、「経営指針」と呼び、その確立・成文化に積極的に取り組んでいます。その経営指針が目指すものは自立型企業とそれを支える自立型社員を育成することです。あなたも経営指針を創る会に参加して、どんな経営環境下にあっても、ワクワク出来る様な未来を切り開く企業作りと一緒に取組んでみませんか。今期は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、オンラインも活用しながら開催予定です。

受講生募集要項

【第1講】2020年10月9日(金)「Zoom」で開催予定
【経営指針発表会】2021年4月頃予定

申込締切
10月2日(金)
予定

【参加資格】経営者、その後継者、またはそれに準ずる立場である方。原則として、全講座に出席できること、遅刻・早退しないこと。宿題を行ってこること、宿題は各自人数分印刷してくること。
※茨城県中小企業家同友会の会員である必要はありません。

【定員】10名(定員になり次第締め切り)

【参加費】会 員:100,000円
会 員外:150,000円



お申し込みは事務局まで(^^) /
ご質問等お気軽に
お問い合わせください。

8月理事会
承認時点
茨城同友会会員数

305名

会員は辞書の
1ページ!



8月7日理事会時点

支部	日立支部	県央海浜支部	水戸支部	南西支部	県西支部	ドラゴン支部
会員数	40	26	117	65	28	29

No.290号 2020年8月31日

DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

茨城同友会

全県例会開催!!

コロナ禍の影響で、各支部例会も通常開催がままならず、例会づくりにも支障が出てきている事と思います。全県例会を通し、各支部の例会作りや実践方法を共有し、支部間の交流にも繋げる機会としましょう!
全県例会では、経営指針を実践し、劇的な外部環境の変化・新しい生活様式にいち早く対応した事業展開を行っている(有)エターナルコーポレーション代表取締役 永岡誠司さんにご報告頂きます。〇〇な方、必聴です!!



日時:2020年10月28日(水)18:00~21:00
ホスト会場:茨城県総合福祉会館
メイン:zoom配信予定
開催方法につきましては、決定次第ご連絡致します。

参加してね♪



2019年度幹部社員研修会
成果発表会
2020年8月21日(金)

第20期経営指針を創る会
発表会
2020年8月22日(土)

新型コロナ感染拡大の影響で、開催延期を余儀なくされていた「2019年度幹部社員研修会成果発表会」「第20期経営指針を創る会発表会」が、共に水戸京成ホテルにて開催されました。三密対策を厳守した上で、zoomの同時配信も行いながらの発表会となりました。



詳細は次号
ご報告いたします



7月例会報告

県央海浜支部

7月21日(火) zoomにて



海浜支部7月例会は、コロナの為交流懇親会からオンラインでの情報交流例会となりました。30年以上も経営をしている先輩経営者が、コロナでも影響が出ていないランチ店舗があると、その秘密を実際にお店に食べに行き学んでいる。そしてすでにこれまでの経営体験を、時代の変化とすり合わせて新しく改善していく。常に本物にふれ、刺激を受けることができる環境が同友会にはある。夜勤をしながらオンライン例会で経営を語れる、そんなタブな経営者の熱量を受け、自社ももっと成長しなければ行動しなければと思える海浜支部の良い環境に、あらためて感謝の気持ちを持つことができる情報交流例会となりました。(レポート:鈴木 達也さん)

水戸支部

7月22日(水) 茨城県総合福祉会館にて・zoom併用



このコロナ渦は私達会員にも、とても大きな影響を与えました。生活様式を一変させるほどの状況下で7月例会をやる、となったとき、私は一番に磯崎さんを報告者として立てることを考えました。積極的な営業活動が自粛される中、WEBを介した方法で活躍をされている会員を報告者として立てることで他会員にも希望の光を見せられるような例会を作りたいと思いました。

「当たり前」の考え方を一変させなければならない。磯崎さんは私達が身近に活用しているyoutubeを営業ツールとして活用することをいち早く行い、その価値、魅力を高めていっしょにやりました。その行動力は事実、このコロナ渦でも発揮され本業を上回る結果を出したとお聞きしています。

また今回はハイブリット式例会としてZOOM中継も同時に行い、新しいオペレーションにも挑戦しました。そのせいもあってか参加者も多く、久しぶりに賑わった例会を迎えることができ、会に活性が戻ったようにも思えます。

コロナ対策や、ネットワーク環境など課題もありましたが、実り有る例会になりました。今後、生活様式を変えて行かなければならない時に、私達は今まで通りの行動で結果を出していくことが可能なのでしょうか。

今、当たり前の考え方を一変させる行動を取らなければ、世界に置いて行かれてしまいます。またそれは今後、私達同友会への関わり方にも影響してくることだと思います。正しく技術を活用し、やり方を整えて行けばこの会ももっと発展できる、逆境を味方にできるような強い会になれると思います。これは自社に置き換えてみればそれもまた同じこと。今住んでいる世界も、今働いている会社も「私達」が作っています。私達の心のあり方、考えた方でより良い会社作りをしていければと思っています。(レポート:関口 裕輔さん)

県西支部

7月15日(木) zoomにて



Zoomを利用した初めてのオンライン例会を開催しました。コロナが収束したとしてもコロナ前の経済や生活には戻らない中、ウイズコロナ時代をどう生き抜くかについて、茨城同友会の代表理事でもある齊藤哲生さんと理事であり全国青年部でも活躍する八巻大介さんに報告いただきました。齊藤さんからは雇用調整助成金の申請、融資制度の初めて活用、感染予防対策などのコロナ禍の取り組み、今後の戦略も出来ることは何でもするというスタンスで変化に対応していくというお話をいただきました。また、八巻さんからは、会社の現状を社員と共有し、コロナ禍の経営危機を単なる対処で終わらせず、未来へ向けた自社の変革と成長と捉え、未来へ向けて動いている実践報告をいただきました。環境変化に対応した自社変革を考える素晴らしい機会となりました。(レポート:事務局)

南西支部

7月28日(火) グランテラス筑西にて・zoom併用

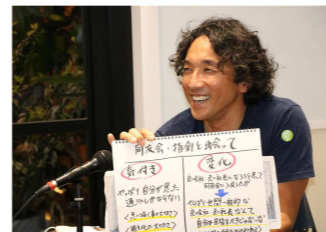


南西支部の7月例会は初めてのリアルとオンラインの両方のハイブリッド例会となりました。今回の報告者は筑西市で解体業を営まれている有限会社高野興業の代表取締役高野久美子さんです。入社して事業承継し現在に至るまで、そして高野興業の未来へのビジョンを語っていただきました。入社当時初めはお手伝い気分だった高野さん。結婚し順風満帆に進んでいましたが、ある時を境に人生の転機を迎えます。ご自身の離婚、社員の大怪我、そんな中で今まで当たり前になっていた社員の大切さに気付きます。頑張っている社員のみならずみんなのためにももっと良い会社にした

い、父が創った高野興業を潰すわけにいかないと高野さんは強く思うようになります。社長になると覚悟を決めてから今までと見える景色が変わっていきました。人が育たない、会社も社員のお互いに甘えが生じ依存しているなど、社内の問題が浮き彫りになってきた中、一番の問題は全てが中途半端で他人のせいにして逃げていた自分だということに気付きます。それからというものの積極的に自分が成長する場所を探し研修や勉強会に参加。会社に持ち帰り実践していき、徐々に先代の会社から脱皮し新高野興業に変化をしていきます。高野さんの愛を持って社員に寄り添い向き合う姿勢、とても勉強になり良い会社にしたという強い想いを感じました。高野興業さんは解体業では少ない女性が多く働く職場です。社長の久美子さんと専務の雅代さんの姉妹が中心となり、きめ細やかな経営をされ社内環境もとても明るく、先代からのアットホームな社風も上手に引き継いでいます。高野さんの想いは、『仕事や仲間を誇りを持ち、共に輝き笑顔に溢れる働きやすい職場環境を創ること』これから益々笑顔の輪を広げて、女性が活躍できる会社を目指し、解体業界のイメージを変えるバイオニアになって欲しいと思います。今回の7月例会は、理念とビジョンに向けて決意表明の様な例会報告となりました。今後の高野興業さんに大いに期待します。(レポート:筑波 洋海さん)

ドラゴン支部

7月30日(木) zoomにて



ドラゴン支部7月例会は、ブームス山崎社長にコロナ禍の経営と展望についてご報告いただきました。オンライン配信の新しい形を示すことができた非常に興味深い例会となり、山崎社長のキャラクターも相まって、大いに盛り上がった例会となりました。

絶対調で拡大路線を突き進んでいたブームスに訪れたまさかの坂。社員に任せる！といえば聞こえはいいが、その実、放任していた！という当時の状況が後の売上減に繋がり、その状況に不安を覚えた多くの社員が自主退職するという非常に厳しい状況を迎えました。コロナより先に経営危機が訪れていた！と話す山崎社長は、この現状を打破すべく拡大路線からミニマム経営に路線を変更し、残った社員とともにあきらめず戦い続けます。そんな中、山崎社長は、自分は何業なのか？ということの日々、自問自答し続けました。そこに見えた答えは？それは、ブームスはロックな家具屋だ！ということでした。創業時に想い描いた想い、ブームスでしかできない表現、見せ方、販売方法、その原点が、ロックな家具屋だったのです。ここに立ち返ることができた山崎社長は、本業に専念し、ブラッシュアップし続けよう、研ぎ澄ましていこう！そう心に決め、自分で現場に立つことで無駄を見つけ、消費者に寄せていた商品をよりブームスらしい品ぞろえに変更し、ロックな社長として我が道を歩み続けることに専念しました。その結果…ファンが増え、家具を買うならブームス！というブランド戦略も成功し、昨対200%の売上を叩き出す結果となりました。しかし、ここに至るまでには、大いに悩み、経営指針を受講し、自分と向き合う時間が必要でした。他人の価値観に生きない！という言葉は、悩み苦しみたどり着いた山崎社長の覚悟の言葉です。これからも、ロックでオンリーワンの経営を続けるであろう山崎社長率いるブームスが楽しみです。日本の家具を底上げするべく山崎社長はこれからも進み続けます。(レポート:池田 裕児さん)

茨城同友会では、新型コロナウイルス感染症対策として、フィジカルディスタンスの徹底、3密対策厳守、オンラインの積極的利用等行っております。今後も茨城版コロナNextの考え方を踏まえた茨城同友会の行事開催要件に基づき活動を行ってまいります。開催予定の行事が中止、延期又は内容等が変更になる可能性がございます。その際には、改めてご案内いたしますので、あらかじめご留意くださいますようお願いいたします。